

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍における感染症や自然災害に対する職員訓練が不足している。	新型コロナウイルスクラスター発生時の訓練を行い、混乱することなく対応することができる。	①来年度の訓練計画の策定 ②マニュアルの整備、更新 ③訓練の実施(自然災害、コロナクラスター対応)	24か月
2	2	コロナ禍のため地域住民との付き合いが大幅に減少しており、運営方法について再考する必要がある。	地域との接点を明確にし、直接的な関わりがなくても認知してもらうことができる。	①広報誌の発行 ②地域のゴミ拾い、清掃活動の継続 ③キャラバンメイト等の運営協力	12か月
3	35	福祉事業所での外出を自粛せざるを得ない状況があり、サービスの質の低下に繋がる可能性がある。	事業所内のイベントの充実。	①イベントの年間予定を作成 ②参加型イベント・レクの増強 ③個別サービスの強化(介護計画掲載)	12か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。